

第3回 学校あり方部会 意見リスト

資料2

2024.10.1

テーマ	カテゴリ	意見数	内容	基本構想・基本計画(案)への反映
①一貫教育学校のあり方について	小中一貫校のメリットについて	1	図書館を共有スペースと位置づけ、交流する場所となるなど、交流するスペースのイメージも持っておく必要がある。	設計において検討を行います。
		3	1 小中学校の児童・生徒の関係を大事にしてほしい。	
		1	レイアウトは小中学生の交流のしやすい学びを考慮して検討した方が良い。	
②教室・オープンスペース・メディアセンターについて	教室やオープンスペース	1	オープンスペースを加味して面積を積み上げた方が良い。	設計において検討を行います。
		1	オープンスペースは面積を明示したほうが良いのではないかと。	
		4	1 特別教室の兼用・共有化を検討した方が良い。	
		1	中廊下のオープンスペースは使い勝手がよくない。(落ち着かないため幅が必要となる。)	
	メディア・ラーニング機能	2	1 図書館の面積の中にサテライト機能を含むなどの記載をしてはどうか。	設計において検討を行います。
1		オープンスペースとメディアラーニング機能のすみ分けについて検討が必要。		
③動線・セキュリティについて	動線計画	1	1 天気の悪い日の敷地間の移動について考慮した運用を考えてもらいたい。	基本計画 II-1.1.基本方針の具体化 (1)安全・安心な学校  基本計画 II-4.1.配置条件 (3)その他
		2	敷地間の移動通路の整備は必要。2敷地の一体感が感じられる計画としてもらいたい。子どもたちが安全に気持ちよく移動できるようにしてもらいたい。	
	セキュリティについて	2	1 フェンスや門の数など、十日市小中学校としてのセキュリティラインのあり方は議論すべきではないか。	
		1	小学校敷地内の市道はどうあるべきかを確認する必要があるのではないかと。	
		1	小学校敷地内の市道はどうあるべきかを確認する必要があるのではないかと。	
④その他学校施設について	既存プールについて	1	1 プールの共有化の検討	基本計画 II-3.2.屋外施設について (2)水泳プール
	避難への対応	2	1 避難所としての設えをどう考えるべきか。(電気設備など。)	基本計画 II-1.4.自然災害への対応 (2)水害
		1	1 想定浸水高さを考慮しどう計画すべきか。(どのような機能を浸水対応するのか。)	
	フレキシビリティ	1	1 児童・生徒数が増加した時の対応についても考慮すべきではないかと。	基本計画 II-1.1.基本方針の具体化 (4)効率的・効果的な施設運用ができる学校
バリアフリー	1	1 エレベーターは必要である。	基本計画 II-3.1.屋内施設について (4)共用部	